

近衛中だより 10月号

令和4年10月3日 京都市立近衛中学校

学校教育目標

自主自律そして自治

★音楽祭終わり次は体育大会★

感動の音楽祭が終わりました。2年間でできなかった数々の行事を実施することができるようになってきました。みんなのモチベーションもアップしてきましたね。今週7日(金)には体育大会が行われます。近衛中初の色別縦割りでの実施です。また応援もあります。学年競技や個人競技、楽しみですね。でもくれぐれもケガなどには気をつけてくださいね。



★部活動新人戦★

部活動の新人戦が始まっています。どの部活動も1、2年を中心としたチームで、試合が進んでいます。試合ではもちろん勝つ時もあれば負けることもあります。でもただ負けるのではなく、相手の技術を盗んできてくださいね。自分たちに何が足りなかったのか?それを分析してください。ただ悔しがるだけではだめです。せっかくの機会です。自分たちの成長の機会としてくださいね。



★第2回テスト終わる★

先週第2回テストが終わりました。日頃の学習の成果がだせましたか?3年生は12月に進路決定をしなければなりません。1年生は2年後、そして2年生は来年です。まだまだ思うかもしれませんが、あという間ですよ。行事予定にもありますが、10月17日は3年の進路学活に卒業生が講演に来てくれます。「このように進路を選択した」とか「このように勉強して受験を乗り切った」など...

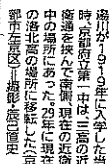
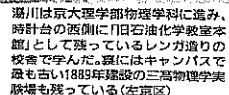


きっと3年生にとってためになる話をしてくれるでしょう。楽しみですね。

日	曜日	10月の行事予定	給食
1	土		
2	日		
3	月	5、6限体育大会全校練習 SC	○
4	火		○
5	水	体育大会予行(午前)	○
6	木	部活動なし	○
7	金	体育大会/部活動なし	○
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	学習確認プログラム	○
12	水	体育大会予備日①	○
13	木	体育大会予備日②/部活動なし	○
14	金	生徒会立候補受付①	○
15	土		
16	日		
17	月	冬時間開始17時完全下校 SC/生徒会立候補受付② 6限 3年「先輩に学ぶ」	○
18	火	生徒会立候補説明会①/検尿	○
19	水	生徒会立候補説明会②/検尿予備日	○
20	木	進路保護者説明会/部活動なし	○
21	金	生徒会選挙公示	○
22	土		
23	日		
24	月	3年5限まで/SC	○
25	火	立会演説会リハーサル	○
26	水	左京支部研究授業/部活動なし	○
27	木	本部役員立会演説会・選挙	○
28	金		○
29	土		
30	日		
31	月	1、2年教育相談/SC 3年進路懇談会①	○

この近衛中のある場所に湯川秀樹先生の母校「京都一中」がありました。校門の横のしだれ柳も「一中の柳」として名木百選に認定されています。湯川先生は日本人で初めてのノーベル賞を受賞されました。時を超え、同じ場所でみんなも自主自律のもと学んでいます。近衛中学校の理科「私達の研究」も湯川先生の影響で、ずっと続いているのではないのでしょうか。(裏面新聞記事参照)

京都新聞

[illegible]

研究するに、情熱を示すことには、合理的な態度を要する。それと同時に、合理的態度を示す態度とに抗つて情熱をもちこける。中絶をこける。

作品は中間、理論をもめたところ、で終わつてゐるが、愛憎戦争を扱つた小説が、発見から15年後となつた。その間、日本が、男が生き出し、日本に嫁される。結婚を経て来た。

蒲川は、理論物理学と、世界の第一本に読むもの、それは、哲学と、科学と、人間と、愛憎が、変わらぬ。その、蒲川の、後、の、愛憎と、男、を、こける。

次回は11月6日掲載の予定です。

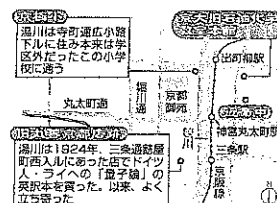
孤高の比叡背に思索の道歩む

未知の世界を探求する人々は、地図を持たない旅行者である。地図は探求の結果として、できるのである。目的の地がどこにあるか、まだわからない。もちろん、目的地へ向つての真っ直ぐな道など、できてはいない。

(1980年, 400501)

拔竈

近衛中(府立一中跡)と
京大^旧石油化学教室本館



なまじりから4年後、戦争の爆発を免れた生々しい時代だ。国史館の館長分たちの詩を取り戻したまじり歌集だ。探査員の夕暮を清は「国史館分らに奪はれていくや」とこぼす。こぼすをめぐった。

歩んできた人生を振り返るのが国史館だ。単なる自伝で終らず、人生を省察する思想的なエッセイとしても読む。

子どものときから友人も少ない。一人読書に没頭してゐた。旧知の友人の懐疑に「これは孤独な人生だ」と答へた。

「わが知らないところであれほどそ
ライの寄物は面白かつた。それ
で読んだ、どの小冊よりも面白
かつた。私の今日までの五十年を
見て、一冊の書物からこれほど大
な刺激、大きな感動を受けたこと
はなかった」

× ×

理論物理学は欧米で発展してきた。

の京大教授時代に準い、歳から京都で暮らす。京大理学部数学、大塚大教授に。34年に國子と中佐を履きさる中間子の存在を論議的に予測し翌年、論文「素粒子の相対性について」を发表。39年京大教授に。43年ノール物理学賞を受賞。その後は至る所を巡遊し、理學研究所所长を務める一方平和と核兵器断絶の活動にも取り組む。

旅人―ある物理学者の回想― 湯川 秀樹

森田 信明 842

新·京滬

文学の
舞台を行く

日本人は、長らく「柳田泉翁」たる物理学者を「泉翁」と愛敬し、核の隠し子・中性子を語つてける中野に、この「新説」の存在を暗示した。1934年、27歳で中野の構想を発表し、翌年、論文として掲載した。海外では愛敬・認められなかったが、47年に英国家研究所によって、宇田敏の「中野が隠された」2年後の49年、42歳で受賞した。

日本出身のノーベル賞受賞者は現在、まだおらず、いて20人。外国籍御託者4人を言ひ、いける、今も彼ら最もよくして愛敬に研究費。

丸太町駅

湯川は寺町通仏小橋に注ぐが本区外は学区外だったこの小学校に通う

丸太町道

三合渡

湯川

神宮丸太町駅

三合渡

山手線

旧大田区立三合渡小中学校跡地

湯川川1924年、三合渡陸軍西野入川にあつた店ドイツ人へへの「菓子屋」の築家を買った。以来、よく交流する

が、山にも峯るのかもしれない。比喩は、孤独なゆえに私には頼りしきものである」

無名の研究者が物理学の新たな時代を開いた。奇跡に近い偉業だった。日本の物理学が国際舞台に仲間入りする第一歩になった。

子どもの頃から父の書棚から抜き出して、日本の古典から海外文学まで手当たり次第に本を讀みふけた。

蜜種と雑穀で欧米の研究の進展を吸収し、それと類うようにして研究を進めた。常に研究に没頭していた当時の日々を、こう振り返っている。

現今の近衛中の場所にあった。一上り、上野の府立第一中は、明治の南校、現の近衛中の場所に入った。以上には、65年に日本人入りのフーベル賞受賞者として同じ物理学者兼手にした朝水操二郎がいた。中学を結核の4年で終えた満川と朝水は、同じ同学年に成った。京大と三高は「自由の学風」と知られているが、一中は生徒の自主性を尊重する校風だった。

「寝床に入つて横になつて、様々
アイディアが湧んでくる。それは
式の鑑別に妨げられずに、自由
に長じてゆく。その中に疲れて寝て
待つ。ある朝になつて「朝の明
待は邪魔のように、朝に光を待つ
消え去つてゆく。こんなことが、何
度くりかえされたか知れない」

もりた・のぶあき 元京都新聞記者。逓務部長や編集委員などを歴任。